

☆学習目標

言葉による見方・考え方をはたらかせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

☆学習を進めるにあたって

使用教材	教科書(国語・書写) 漢字のワーク 国語のワーク 文法のワーク (タブレット)	持ち物	教科書 ファイル 漢字のワーク 文法のワーク 国語のワーク
学習の進め方	①挨拶: 服装を正し、全体で挨拶する。 ②本時の目標: 今日の授業で行うことを説明する。 ③前回の復習(小テスト形式で行うこともある) ④本読み: 範読(CDを使うこともある)や指名読みをしながら、漢字や語句の確認をする。 ⑤内容理解: 主題にそった発問をし、内容理解をすすめる。 ⑥板書: 内容の理解を確認しながら、黒板にまとめていく。 ⑦まとめ: 本時のまとめと振り返りを行う。 ⑧挨拶: 全体で挨拶する。 ※内容によって、班学習やグループ討議、発表をすることもある。 ※聞きとりテストや文法の小テストを行うこともある。 ※文法・書写を学習することもある。 ※単元で学習したことを生かした作品作りをすることもある。		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に発言するように心がける。その際、挙手をし指名されてから発言すること。 また、発言内容は、伝わりやすいように言葉を考えて発言する。 ・忘れ物をしないようにする。 ・他の人が読んだり発表したりしている時は、静かに聴く態度をとる。 ・班学習やグループ討議などには積極的に参加し、学習する。 ・プリントやワークシートは全て記入し、聞きとったことはメモを取るよう心がける。 ・古文は声を出して何度も朗読する。また、理解が深まるよう、暗唱にも取り組む。 		

☆学習方法についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> ・休憩時間中に授業の準備をしておきましょう。(忘れ物がないようにしましょう。) ・課題は決められた期日までに必ず提出しましょう。 ・必ず黒板を写し、必要であれば先生の話をもメモしておきましょう。 ・あとで授業内容を思い出せるように工夫してプリントを作るように努力しましょう。 ・しっかり先生の話聞いて、わからないことがあれば質問し、解決していけるようにしましょう。 ・単元で学習したことを生かした作品作りに取り組んでいきましょう。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字や語句の意味を自主的に調べましょう。 ・ノートを見直し、その日の授業の復習をしておきましょう。 ・何度も本読みをし、漢字もすらすら読めるようにしておきましょう。 ・日頃から本や新聞を読む習慣をつけましょう。 ・朝読も積極的に取り組むようにしましょう。

学習内容及び評価について(通年)

学習計画			
月	単元計画	書写	試験
4	朝のリレー 竜 グループディスカッション		
5	音声のしくみとはたらき ペンギンの防寒着 クジラの飲み水		中間 テスト
6	活字と手書き文字・画数・筆順 レポート 空中ブランコ乗りのキキ 文法「言葉の単位・文節の関係」		期末 テスト
7	字のない葉書 漢字の成り立ちと部首		
8	1000円の価値を考える 接続する語句・指示する語句		復習 テスト
9	スピーチ		暗唱 テスト
10	竹取物語 故事成語 漢字の音と訓		中間 テスト
11	防災に関するデータ 「みんなでいるから大丈夫」の怖さ 方言と共通語		期末 テスト
12	それだけでいい トロッコ	毛筆 書き初め	
1	意味と意図 意見文 文法「単語の類別・品詞」		復習 テスト
2	少年の日の思い出		学年末 テスト
3	文法「活用のない自立語」		

評価にあたって		
評価観点		評価の場面・方法
知識・ 技能	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の読み書きが正しくできているか 文法事項についての知識、考え方を理解できているか 表現技法を理解できているか 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字や文法などの小テスト 定期テスト
	<ul style="list-style-type: none"> 進んで意見を発表し、他者の意見をよく聞いて、自分の意見にいかしているか 場面や目的に応じて、話し合っているか 文章の主題をとらえ、自分の意見や感想を文章で表現できるか 自分の意見の根拠を明らかにしながら文章を書いているか 登場人物の心情やその変化を捉えているか 文脈に即して筆者の主張を捉えているか 表現技法、指示語、接続語などに注意し、内容をよみとっているか 	<ul style="list-style-type: none"> 班での話し合いの様子や発表 聞きとりテスト 授業中における課題(作品など) 定期テスト
思考・ 判断・ 表現		
主体的 に学習 に取 り組 む 態度	<ul style="list-style-type: none"> 授業に積極的に参加できているか 授業を聴いて、ノート(プリント)をとっているか 提出物を出せているか 遅刻をせず、忘れ物もないか 単元で学習したことを作品に生かしているか 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の態度(遅刻や忘れ物も含めて) プリント、ワークなど 振り返りなど 漢字や文法などの小テスト 授業中における課題(作品など)

* 変更になる場合もあります

☆学習目標

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民として基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家社会の形成者として必要な公民的資質を養う。

地理: 日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の地域的特色を考察し理解させ、地理的な見方や考え方の基礎を培い、我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う。

歴史: 歴史的事象に関する関心を高め、わが国の歴史の大きな流れを世界の歴史を背景に、各時代の特徴をふまえて理解させ、それを通してわが国の伝統と文化の特徴を広い視野に立って考えさせるとともに、わが国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てる。

☆学習を進めるにあたって

使用教材	教科書 授業ファイル ワーク クロームブック 資料集 地図帳 (タブレット)	持ち物	教科書 授業ファイル クロームブック ワーク 資料集 地図帳 筆記用具
学習の進め方	①挨拶: 全体で挨拶をする。 ②前時の復習 ③本時の目標の確認 ④学習: 教科書にそって学習を進める。 ⑤定着: ワークシート・プリントに板書の記入などを行い、理解を深める。 ⑥振り返り: 本時の振り返りを行う。 ⑦挨拶: 全体で挨拶をする。 ※班活動による学習を行うときもある。		
学習上の留意点	・「見る・聞く・書く」作業をしっかり意識して学習する。 ・メリハリを意識して授業に臨む。 ・班活動に積極的に参加し、それぞれ主体的に学習できるように意識する。 ・図や映像などは教材の内容の意味をよく考え理解する。 ・授業規律をしっかり守り、忘れ物をせず、学習環境を整える。 ・ノートやワークシート等のプリントの記入を徹底する。 ・自分が気になることがあれば、メモを取る。		

☆学習方法についてのアドバイス

学校	・授業を受ける環境を整えましょう。(忘れ物をしないようにしましょう)。 ・提出物の期限を守りましょう。 ・板書はきちんと写しましょう。その上で、授業で説明されたことをメモするなどして、あとで振り返って見てもわかるようにしましょう。 ・授業中の教師の問いかけに対して、よく考えて積極的に発言しましょう。 ・わからないところは、授業中・休み時間・放課後に質問をして解決しておきましょう。
家庭	<全体> ・その日の授業内容は、その日のうちに復習しましょう。 ・テストのために、ノートをまとめるなどして学習内容を整理しておきましょう。 ・单元ごとに出されるワークや課題プリントを自宅で期限内に必ず行い、学習内容を整理しておきましょう。 ・出来事や特徴を理解し、文章にして説明できるようにしておきましょう。 <地理> ・地域や工業・農業など、学習した内容を整理しましょう。 ・資料の読み取りかたを理解し、実際のデータを読み取る練習をしましょう。 <歴史> ・出来事の流れを整理し、それぞれの内容を覚えていきましょう。 ・写真・絵などの資料と出来事が関連付けられるように整理しておきましょう。

学習内容及び評価について(通年)

学習計画			評価にあたって	
月	単元計画	試験	評価観点	評価の場面・方法
4	<地理> 第1部 世界と日本の地域構成 第1章 世界の姿 第2章 日本の姿		知識・技能 世界の諸地域や我が国の歴史に関し理解するとともに、様々な情報を調べ、効果的にまとめる技能が身についている。	・定期テストの指定問題 ・小テスト など
5		中間テスト		
6	第2部 世界のさまざまな地域 第1章 人々の生活と環境	期末テスト		
7	第2章 世界の諸地域 1節 アジア州 2節 ヨーロッパ州		思考・判断・表現 社会に見られる課題の解決に向けて思考・判断したりする力が身についている。	・定期テストの指定問題 ・授業中の課題 (記述内容や話し合い活動) ・小テスト など
8	3節 アフリカ州	復習テスト		
9	4節 北アメリカ州 5節 南アメリカ州			
10	6節 オセアニア州	中間テスト		
11	<歴史> 第1章 歴史へのとびら 1節 歴史をとらえる見方・考え方 2節 身近な地域の歴史	期末テスト		
12	第2章 古代までの日本 1節 世界の古代文明と宗教のおこり 2節 日本列島の誕生と大陸の交流		主体的に学習に取り組む態度 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。	・授業中の課題 (記述内容や話し合い活動) ・レポート課題 ・授業の振り返り ・提出物 など
1	3節 古代国家の歩みと東アジア世界	復習テスト		
2	第3章 中世の日本 1節 武士の政権の成立	学年末テスト		
3	2節 ユーラシアの動きと武士の政治の展開			

☆学習目標

- (1)正の数と負の数、文字を用いた式と一元一次方程式、平面図形と空間図形、比例と反比例、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2)数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力、数量の変化や対応に着目して関数関係を見だし、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力、データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。
- (3)数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度、多面的に捉え考えようとする態度を養う。

☆学習を進めるにあたって

使用教材	教科書・ファイル・ワーク・プリント (クロムブック)	持ち物	教科書・プリント・ ファイル・ワーク・ (ワークの解答)
学習の進め方	①挨拶: 服装を正し、全体で挨拶をする。 ②忘れ物チェック: 教科書、ファイル、ワークを持ってきているか確認する。 ③前回の復習: 教科書・ファイルを用意し、前回学習した内容を復習する。 ④本時のめあて確認: 本時の学習内容を確認する。 ⑤例題で練習: 教科書の例題を確認し、必要に応じて板書を写す。 ⑥演習問題: 例題を参考にしながら、演習問題をする。時間に余裕がある生徒は、理解を深めるためにワークなどの演習問題をする。 ⑦演習問題の解説: 演習問題の解説を聞いて理解を深める。 ⑧本時の授業の振り返り: 本時の授業での重要事項をまとめる。 ⑨挨拶: 服装を正し、全体で挨拶をする。 ※計算や前回の授業内容の復習などの小テストを行うこともある。 ※内容によって、グループ討議や発表をすることもある。		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物をしないようにする。 ・きちんとした服装・姿勢で授業を受ける。 ・説明を聞くときと、板書を写すときの区別をつける。 ・分からないことがあれば、手をあげて質問をする。 ・教科書の演習問題に取り組んで終わりではなく、時間に余裕があれば積極的にワークなどの問題をする。 ・家庭で復習する習慣をつける。 ・提出物は必ず期日を守る。 		

☆学習方法についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中は先生の話を聞き、しっかりと考える時間をつくりましょう。 ・板書を必ず写し、工夫しながら自分で後から見てもわかるものをつくりましょう。 ・忘れ物のないようにならなう。 ・提出物は期日を守って、きちんと仕上げて提出しましょう。 ・わからないことがあれば質問をすることで解決し、自力で解けるようになるまで取り組みましょう。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日学習したことの復習をしましょう。 ・間違い直しをしっかりとしましょう。 ・わからないからといって投げ出さずに、1つの問題にじっくりと時間をかけ考えることも必要です。

学習内容及び評価について(通年)

学習計画			評価にあたって		
月	単元計画	試験	評価観点		評価の場面・方法
4 5	第1章 正の数と負の数 1. 正の数と負の数 2. 加法と減法 3. 乗法と除法 4. いろいろな計算	中間 テスト	知識・ 技能	事象を数量や図形などで 数学的に表現し処理する 知識や技能を身につけ ている。	テストの指定問題
6	第2章 文字と式 1. 文字と式 2. 文字式の計算 3. 文字式の利用	期末 テスト			
7 8 9	第3章 1次方程式 1. 1次方程式 2. 1次方程式の利用	復習 テスト	思考・ 判断・ 表現	事象を数学的にとらえて 論理的に考察し表現した り、その過程を振り返っ て考えを深めたりするな ど、数学的な見方や考え 方を身につけている。	テストの指定問題
10	第4章 比例と反比例 1. 比例 2. 反比例 3. 比例と反比例の利用	中間 テスト			
11 12	第5章 平面図形 1. 平面図形 2. 作図 3. 円	期末 テスト	主 体的 に 学 習 に 取 り 組 む 態 度	数学的な事象に関心をも つとともに、数学的活動 の楽しさや数学のよさを 実感し、それらを活用し て考えたり判断したりし ようとする。	授業態度 提出物 ふりかえり
1 2	第6章 空間図形 1. 空間図形 2. 立体の体積と表面積	復習 テスト 学年末 テスト			
3	第7章 データの活用 1. データの整理とその活用 2. 確率				

☆学習目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

(1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。【知識及び技能】

(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。【思考力、判断力、表現力等】

(3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】

☆学習を進めるにあたって

使用教材	教科書 ワーク クロームブック(デジタル教材)	持ち物	教科書 ワーク 理科ファイル
学習の進め方	①あいさつ: 起立して授業の開始の挨拶を行う。 ②目標確認: 本時の目標を確認する。 ③内容理解: 教科書や実験器具などを使い今回の学習内容を理解する。 ④整理: 教科書や板書をノートにまとめる。 ⑤まとめ: 本時の理解を深めるために問題集やプリントを行う。		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物をしないこと。 ・前向きに授業に取り組む。 ・学習したことは、習った日にワークなどで復習する。 ・実験などを行うときは、いつも以上に先生の話聞き、ケガなどがないようにをしないように十分気を付ける。 ・提出物は、期日までに提出する。 		

☆学習方法についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> ・事前の準備をしておきましょう。(忘れ物がないようにしましょう。) ・質問には積極的に答えていきましょう。わからないところは、その日のうちに先生にできるだけ聞きましょう。 ・図や表、絵などを使い、習ったことがイメージできるようにしましょう。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日理科を勉強しましょう。(短くても良いので) ・その日の学習はその日のうちに復習し、自分の力にしましょう。 ・ワークで習ったところを積極的に取り組もう。 ・自習ノートをつくるなど、主体性をもって学習に取り組む。

学習内容及び評価について(通年)

学習計画			評価にあたって	
月	単元計画	試験	評価観点	評価の場面・方法
4	いろいろな生物とその共通点 〔生命〕		知識・技能	基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。
5	1章 植物の特徴と分類 2章 動物の特徴と分類	中間テスト		
6	活きている地球 〔地球〕	期末テスト	思考・判断・表現	観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。
7	1章 身近な大地 2章 ゆれる大地 3章 火をふく大地 4章 語る大地			
8		復習テスト		
9				
10	身のまわりの物資 〔物質〕	中間テスト		
11	1章 いろいろな物質とその性質 2章 いろいろな気体とその性質 3章 水溶液の性質 4章 物質のすがたとその変化	期末テスト	主体的に学習に取り組む態度	行動観察 発表 レポート ワークシート デジタル教材 など
12				
1	光・音・力による現象 〔エネルギー〕	復習テスト		
2	1章 光による現象 2章 音による現象 3章 力による現象	学年末テスト	事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
3				

☆学習目標

<p>表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。</p>
<p>(1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。</p>
<p>(2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p>
<p>(3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>

☆学習を進めるにあたって

使用教材	<p>中学音楽1 音楽のおくりもの 中学器楽 音楽のおくりもの アルトリコーダー</p>	持ち物	<p>教科書 ファイル アルトリコーダー 筆記用具</p>
学習の進め方	<p>①挨拶: 服装を整えてあいさつをする。 ②忘れ物チェック: 教科書2冊、ファイル、アルトリコーダー、筆記用具の準備をしておく。 ③本時の目標: 本時に何を学ぶか把握しておく。 ④活動: 本時の目標に向けて練習をする。 ⑤挨拶: 服装を整えてあいさつをする。 *実技テストやパート練習があるときは、待っている間に課題プリントをする。</p>		
学習上の留意点	<p>・忘れ物がないようにする。 ・提出物は決められた期日までに必ず提出する。 ・積極的に歌、リコーダーの練習に取り組む。 ・わからないことがあれば質問する。</p>		

☆学習方法についてのアドバイス

学校	<p>・合唱では、互いのパートをよく聞き、歌詞の内容を味わい楽しく歌いましょう。 ・アルトリコーダーでは、基礎的奏法を覚え、それぞれの曲に合う音色で吹きましょう。 ・授業中に大切だと思ったことはプリントにメモしておきましょう。 ・授業中に気づいた演奏についての注意事項やアドバイスを楽譜に書き込みましょう。 ・わからないことがあれば質問し、解決していきましょう。</p>
家庭	<p>・教科書、授業プリントで復習しましょう。 ・定期テストの学習では、作品や作者の名前、演奏形式、楽典などの語句を覚えましょう。 ・実技テスト前は、学習したことを思い出し各自で練習しましょう。</p>

学習内容及び評価について(通年)

学習計画			評価にあたって	
月	単元計画	試験	評価観点	評価の場面・方法
4	校歌	定期テスト	知識・技能 ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	定期テスト ・実技テスト ・授業プリント
5	校歌 楽典 鑑賞 アルトリコーダー			
6	歌 楽典			
7	合唱コンクールにむけて	定期テスト	思考・判断・表現 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じとる。 ・どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	定期テスト ・授業プリント ・教科書の書き込み ・楽譜の書き込み
8				
9	合唱コンクール曲(課題曲・自由曲) リコーダー奏 楽典 鑑賞			
10				
11	鑑賞	実技テスト	主体的に学習に取り組む態度 音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	授業態度、提出物、忘れ物 ・課題プリント ・ふり返りシート ・実技テスト
12				
1	リコーダー奏 楽典			
2	1年間のまとめ (歌・リコーダー・鑑賞)	実技・学年末テスト		
3				

☆学習目標

- ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。
- ・意図に応じて表現方法を工夫して表している。
- ・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し、構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりしている。
- ・美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

☆学習を進めるにあたって

使用教材	教科書、美術資料、クロッキー帳、ワークシート	持ち物	教科書、美術資料、クロッキー帳、 絵の具(課題がある場合)、鉛筆
学習の進め方	①あいさつ ②本日の授業の目標、活動内容の確認 ③活動:描画活動、造形活動、鑑賞活動 ④本日の活動の振り返りと次回の授業の連絡をする ⑤あいさつ		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物(作品やプリント)は必ず期日までに完成させて提出する。 ・忘れ物をしないようにする。 ・用具を大切に扱い、後片付けも必ず行う。 ・分からないことがあれば手をあげて質問する。 		

☆学習方法についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> ・美術は授業時数が少ないために、取り組める課題数に限りがあります。そのため、作品のひとつひとつ、プリントの一枚一枚が評価に対し大きな影響を及ぼします。提出が要されるものについては必ず提出しましょう。 ・制作を円滑に進めるために、必要な用具や資料をあらかじめ準備して持ってこよう。 ・美術の苦手意識があっても一生懸命制作に取り組もう。上手い下手は評価の全てではありません。作品への手数、作業量が実は重要です。 ・思ったように表現できなかったりアイデアが浮かばない時は教科書や資料集を見たり、質問したりしましょう。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テストの学習では、作品や作者の名前、技法などの語句を覚えよう。その際は教科書や美術資料に載っている画像にも目を通しましょう。

学習内容及び評価について(通年)

学習計画			評価にあたって	
月	単元計画	試験	評価観点	評価の場面・方法
4	<ul style="list-style-type: none"> ●実技「素描」[絵画] ⇒プリントを提出する ●実技「レタリング」[デザイン] ⇒クローキータの表紙にレタリングをして提出する ●鑑賞「美術のはじまり」[鑑賞] プリント、ビデオを用いて学習する ⇒プリントを提出する 	定期 考査	観点Ⅰ 知識・技能 <ul style="list-style-type: none"> ●定期テスト「観点Ⅰ」の鑑賞問題 ●材料や用具の生かし方を身につけ、意図に応じて工夫することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ●定期テスト「観点Ⅰ」の鑑賞問題の得点 ●実技作品の提出
5				
6				
7				
8				
9	<ul style="list-style-type: none"> ●実技「体育大会のタオルデザイン」[デザイン] ⇒デザイン用紙を提出する ●色の整理(絵の具)[デザイン] ①色相環を絵具で再現する ②文字を題材に色彩構成を行う ⇒作品を提出する ●鑑賞「岡本太郎」[鑑賞] プリント、ビデオを用いて学習する ⇒プリントを提出する 	定期 考査	観点Ⅱ 思考・判断・表現 <ul style="list-style-type: none"> ●定期テストの「観点Ⅱ」の実技問題～完成度、発想 ●制作に向けて、自主的に参考になるような資料を準備する ●制作を円滑に進められるよう、事前に構想を練っている ●鑑賞プリントの空欄に入る語を埋め、記述することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ●定期テストの「観点Ⅱ」の実技問題の得点 ●発想の数々が作品に重層的に表現されている ●自らの発想の工夫を言葉や文章で説明することができる ●鑑賞プリントの提出
10				
11				
12				
1	<ul style="list-style-type: none"> ●実技「ポストカードイラスト」[デザイン] テーマにそって葉書に絵を描く ⇒葉書を提出する ●実技「粘土」[デザイン] デザインを考えて造形する ⇒作品を提出する ●鑑賞「祭りを彩る造形」[鑑賞] プリント、ビデオを用いて学習する ⇒プリントを提出する 	定期 考査	観点Ⅲ 主体的に学習に取り組む態度 <ul style="list-style-type: none"> ●授業に遅刻をしない ●忘れ物をしない ●道具を適切に用いている ●貸し出された道具をきちんと返却する ●自分の机の周りを汚さず片付けている ●長期休業間の宿題～完成度、発想 ●制作過程の振り返りシート 	<ul style="list-style-type: none"> ●遅刻や忘れ物、道具の扱い方については随時観察する ●長期休業間の宿題の提出 ●自分の構想や、作業について振り返ることができるか
2				
3				

☆学習目標

ガイダンス（前置）

- 実践的・体験的な学習活動を通して、ものづくりの基本的な知識と技術を習得させるとともに、技術が果たす役割について理解を深め、それらを適切に評価し活用できるようになる。

（領域A）材料と加工に関する技術

- 基本型を示した条件の中で、生徒が目的や条件を設定して、入れるもの、置く場所、あるいは生徒自身の技能を自らが考えながら、形状や寸法を設計し、設計図に基づき製作することができる。

（領域D）情報に関する技術

- 情報に関する技術が、暮らしや環境保全、産業等の中で活用されていることに気づき、関心を持つ。
○ 身近にある情報の技術について知らせるとともに、そのはたらきについて関心を持たせる。

☆学習を進めるにあたって

使用教材	教科書	持ち物	教科書・ノート
学習の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書の内容を見る。（学習内容の確認する。） ・ 授業ノートにまとめる。（板書を写す、メモを取る。） ・ 実技（目的や手順に従って安全に実習を進める。） 		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 忘れ物がないか授業の始めに毎時間チェックをする。 ・ 実習等の実技の際は安全面に注意する。 ・ 定期的に授業ノートを提出する。 		

☆学習方法についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書・ノートの準備をしておきましょう。（授業に対する意欲・態度点に入ります。） ・ 黒板の板書は必ずノートに写しておきましょう。（テスト勉強に役立つ。） ・ 教科書の大切な個所には赤線を引いておきましょう。（テストによく出る。） ・ 提出物は必ず決められた日までに出しましょう。（提出点が悪くなります。） ・ 解らないところがあれば、必ず質問して解決しておきましょう。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の内容を家庭で思い出し、実践できる場所はトライしてみる。 ・ 試験前は、ノートに書いたところを中心にプリントや教科書の内容をしっかりと勉強する。

学習内容及び評価について(通年)

学習計画			評価にあたって				
月	単元計画	試験	評価観点	評価の場面・方法			
4	ガイダンス(入門的説明) 1. 技術を見つけよう 2. 技術とわたしたちの生活 3. 技術分野の学習	定期試験	知識・技能 ・ 工具や機器を安全に使用できる。 ・ 製作図をかき、部品を加工し、組立て及び仕上げができる。 ・ 材料の特徴と利用方法及び材料に適した加工法についての知識を身に付けている。 ・ 構想の表示方法についての知識を身に付けている。 ・ 材料と加工に関する技術と社会や環境とのかわりについて理解している。 ・ コンピュータにおける基本的な情報処理の仕組み、情報通信ネットワークにおける安全な情報利用の仕組み、メディアの特徴と利用方法、コンピュータを用いた計測・制御の基本的な仕組みについて知識を身に付けている。 ・ 情報に関する技術と、社会や環境とのかわりについて理解している。	・ 実習中の作業の様子 ・ 授業中の取り組みの様子 ・ 定期試験 ・ 提出物(ノート・課題プリント)			
5							
6	領域A 材料と加工の技術 1. ものづくりの工夫と進め方						
7	領域A 材料と加工の技術 2. 材料						
8	3. 設計						
9							
10					4. 製作		
11	5. これからの 材料と加工の技術				定期試験	思考・判断・表現 ・ 技術にかかわる倫理観を身に付け、知的財産を創造・活用しようとしている。 ・ 使用目的や使用条件に即して製作品の機能と構造を工夫している。 ・ 材料と加工に関する技術を適切に評価し活用している。	・ 製作品の加工および製作過程 ・ 製作品の完成度 ・ 定期試験 ・ 提出物(ノート・課題プリント)
12							
1							
2	領域D 情報の技術 1. 生活や社会と情報の技術 2. 情報の伝達 3. 情報セキュリティと情報モラル	定期試験	主体的に学習に取り組む態度 ・ 技術が人間の生活を向上させ、我が国における産業の継承と発展に影響を与えていることに気づき、技術が果たしている役割について関心を示している。 ・ 技術が環境問題の原因と解決に深くかかわっていることに気づき、技術の進展と環境との関係について関心を示している。 ・ 材料と加工に関する技術を適切に評価し活用しようとしている。 ・ 情報に関する技術について関心を、もっている。	・ 授業中の取り組みの様子 ・ 教科書・ノート等の忘れ物 ・ 提出物(ノート・課題プリント)			
3							

☆学習目標

衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

☆学習を進めるにあたって

使用教材	教科書	持ち物	教科書、ファイル (実習で使用するものは事前連絡)
学習の進め方	<p>[教室での授業]</p> <ol style="list-style-type: none"> ①挨拶: 服装を整えて全体で挨拶をする。 ②忘れ物チェック: 教科書、ファイルを確認する。 ③本時の目標: 教科書の内容を見て学習内容を確認する。 ④内容理解: 板書の内容や、気づいたことをプリントにまとめる。 ⑤まとめ: 本時の重要事項をまとめる。 ⑥プリント提出 ⑦挨拶: 服装を整えて全体で挨拶をする。 <p>[実習を行うとき]</p> <ol style="list-style-type: none"> ①挨拶: 服装を整えて全体で挨拶をする。 ②忘れ物チェック: 教科書、ファイルを確認する。 ③本時の目的や手順を確認する。 ④実習: 安全に気を付けて実習を行う。 ⑤後片付け ⑥挨拶: 服装を整えて全体で挨拶をする。 		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物をしないようにする。 ・毎時間授業後にプリントを提出する。欠席をした場合も、プリントを見せてもらい、必ず提出する。 ・提出物は必ず期日を守って提出する。 ・実習等の実技の際は安全面に注意する。 		

☆学習方法についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物がないようにしましょう。 ・プリントは黒板に書いてあることだけでなく、自分の考えや、大切だと思うことをメモしておきましょう。 ・提出物は決められた日に必ず提出しましょう。 ・わからないことがあれば、積極的に質問しましょう。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の内容を家庭で思いだしたり、実践してみましょう。 ・テスト前は、プリントに書いたことを中心に、教科書の内容もしっかりと勉強しましょう。(後回しにすると、時間が無くなるので早めにとりかかろう)

学習内容及び評価について(通年)

学習計画			評価にあたって		
月	単元計画	試験	評価観点	評価の場面・方法	
4	ガイダンス 住まいのはたらき 家族の暮らしやすい住まい		知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 住居の基本的な機能について理解している。 家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。 衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解している。 衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解している。 生活の中で食事が果たす役割について理解している。 	提出物A(課題プリント) 作品 定期テスト
5					
6	家庭内事故から家族を守ろう 災害に備えた安全な住まいを考えよう	定期テスト	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 家族の安全を考えた住空間の整え方について問題を見つけ、課題を解決する力を身に付けている。 衣服の選択、材料や状態に応じた日常の手入れの仕方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、課題を解決する力を身に付けている。 資源や環境に考慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見つけ課題を設定し、解決策を考え、課題を解決する力を身に付けている。 食生活について課題を見つけ、健康によい食習慣などについて考え、工夫している。 	提出物B(課題プリント) 作品 定期テスト
7					
8					
9	目的に合わせて自分らしく着よう				
10	衣服を計画的に活用できるようになろう		主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> よりよい生活の実現に向けて、住居の機能と安全な住まい方について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 衣服の選択と手入れについて、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 身近な食品を選択するために必要な情報を収集・整理できる。 	提出物C(課題プリント) 授業態度 実習の様子
11	被服実習				
12		定期テスト			
1	健康と食生活 食事の役割を考えよう				
2	健康によい食習慣について考えよう	定期テスト			
3	何をどれだけ食べたらよいか 栄養素の種類と働きを知ろう				

☆学習目標

<p>心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。</p> <p>①運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、知識や技能を身に付け、運動を豊かに実践することができるようにする。</p> <p>②運動を適切に行うことによって、体力を高め、心身の調和的発達を図る。</p> <p>③運動における競争や協同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たすなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を育てる。</p> <p>④個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。</p>

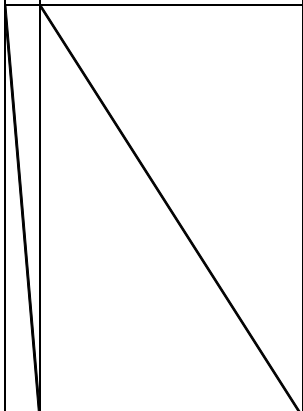
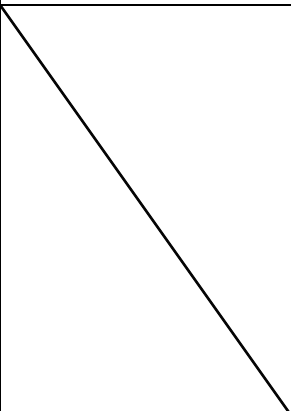
☆学習を進めるにあたって

使用教材	保健の教科書 保健ノート 実技本	持ち物	保健：教科書、保健ノート、 実技本 体育：体操服、帽子、 体育館シューズ
学習の進め方	<p>①挨拶：活動場所に集合し、服装を正し、整列・挨拶をする。</p> <p>②出欠の確認：出欠・見学者・遅刻者・忘れ物等を確認する。</p> <p>③本時の授業内容説明：前回の授業をふり返り、本時の目当てを確認する。</p> <p>④準備運動：ランニング、ラジオ体操、補強運動を行う。</p> <p>⑤展開：種目に取り組む。</p> <p>⑥本時のふりかえり：集合、整列し、本時の授業をふり返る。 ふり返りシート、ステップアップノートの活用。</p> <p>⑦挨拶：次回の授業連絡をし、服装を正し、挨拶をする。</p> <p>★保健の授業に関しては、教室で行います。</p>		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に留意する。 ・仲間と協力して学習をすすめる。 ・何事にもチャレンジする。 ・その運動の歴史や特性に触れる。 		

☆学習方法についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席、遅刻、忘れ物、授業態度などに気をつけましょう。 ・実技テストに向けて日々の授業の練習を大切にしましょう。 ・定期テストでは、保健の授業で学んだことを復習しましょう。 ・授業中の自己評価カードなどにポイントなどを記入しましょう。 ・球技などの試合の時は、チームでどのように課題を解決するか相談しましょう。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の前日に必要なものを準備し、忘れ物がないようにしましょう。 ・授業で学習した内容の復習をしましょう。 ・ランニング、ストレッチ、腹筋、腕立て伏せなどの筋力トレーニングを行いましょう。

学習内容及び評価について(通年)

学習計画				評価にあたって		
月	単元計画			試験	評価観点	評価の場面・方法
	男子	女子	男女共通			
4	集団行動 集団つくり運動 ラジオ体操 ・保健 (健康な生活と 病気の予防 ①)			スポーツテスト 実技テスト 定期テスト	・正しいフォームで行うことができる。 ・正確な動作である。 ・速く走る、遠くへ跳ぶ等ができる。 ・筆記テスト ・ルールや使用する道具の名称をきっちり言える。 ・安全に留意して運動を行う。	・チェック項目を設けての実技テスト。 ・個人設定目標を達成することができる。 ・筆記テストの点数 ・日々の授業や、ワークシートを用いる。 ・指示に従ってきっちりと動く。
5						
6						
7	短距離走 水泳				・粘り強く思考力、判断力、表現力を身に着けようとしているか。 ・粘り強い取り組みの中で、自らの学習を調整しようとしているか。	・筆記テストの点数 ・試合中のチームワーク ・集団行動 ・振り返りシート
8						
9	剣道	器械運動			・振り返りシート ・声を出す ・ラジオ体操 ・保健ノート ・授業プリント	
10	器械運動	剣道	・保健 (心身の発達と 心の健康)	実技テスト 定期テスト	・粘り強く思考力、判断力、表現力を身に着けようとしているか。 ・粘り強い取り組みの中で、自らの学習を調整しようとしているか。	・振り返りシート ・出欠確認時 ・日々の授業
11	長距離走				・振り返りシート ・参加状況 ・忘れ物 ・遅刻 ・声を出す ・ラジオ体操 ・保健ノート ・授業プリント	
12						
1	ダンス	バスケットボール	・体育に 関する知識	実技テスト 定期テスト		
2	サッカー					
3	走り幅跳び	ダンス				

☆学習目標

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

- (1) 初歩的な英語を聞いて話し手の意向などを理解できるようにする。
- (2) 初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話すことができるようにする。
- (3) 英語を読むことに慣れ親しみ、初歩的な英語を読んで書き手の意向などを理解できるようにする。
- (4) 英語で書くことに慣れ親しみ、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを書くことができるようにする。

☆学習を進めるにあたって

使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・ファイル ・英和(和英)辞典 [家庭学習用] <ul style="list-style-type: none"> ・ワーク ・自主学習ノート 	持ち物	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・ファイル ・英和(和英)辞典
学習の進め方	<ol style="list-style-type: none"> ① Daily Questions: 日時・曜日・時刻・天気についての質問に英語で答える。 ② Word Check: 英単語リストを使い、ペアで日本語⇄英語の即興翻訳をする。 ③ 文法説明: スライドでの導入の後、意味や文の形、使用場面などを簡潔に説明する。 ④ 練習や活動: 習った文法事項や語彙を使い、アクティビティや練習問題に取り組む。 ⑤ 新出単語の練習: くりかえし発音し、ノートに練習する。 ⑥ Underline: 新出語彙や重要表現を確認し、本文の概要や登場人物の気持ちなどを把握する。 ⑦ 文章の音読練習: いろいろなリーディングパターンを使って読む練習をする。 ⑧ 本時の授業のふりかえり: 授業内容や授業でできたこと・できなかったことを振り返る。 ※単語小テストやパフォーマンステストなども行う。		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な持ち物を持ってくる。 ・一度もらったプリントはなくさない。 ・授業で扱った教科書の新出単語や本文は、自宅で何度も音読練習する。 ・できるだけ習った日にワークを何度も解き、文法の定着を図る。 ・授業で取り組んだプリント(ファイル)やワーク等は適宜提出する。 		

☆学習方法についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物をしないようにしましょう。 ・授業をしっかりと聞いて、大きな声で発音し、読みましょう。 ・授業で学ぶことは、授業中に覚える努力をしましょう。 ・ペア学習、班活動等の対話練習、活動練習は積極的に活動しましょう。 ・ノートは丁寧な字で書きましょう。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・英単語は「見て・声に出して・書いて」の手順で覚えていきましょう。 ・音声を聞きながら単語リストを音読すると効果的です。 ・わずかな時間でも、できるだけ毎日英語の学習に取り組みましょう。 ・特にワークは授業で学習した後、あまり時間が経たないうちに取り組んでおきましょう。 ・ワークはテスト1週間前には終わらせ、テスト前は弱点の克服に時間を使いましょう。 ・余裕がある生徒は、1年の復習や2年の予習もしましょう。 ・自分が苦手な英語の力を振り返り、自分に合った方法で自主学習ノートに取り組んでみましょう。 ・洋画や洋楽など、自分が興味を持てることから英語に触れていくと、英語学習のモチベーションをあげることができます。

学習内容及び評価について(通年)

学習計画			評価にあたって	
月	単元計画	試験	評価観点	評価の場面・方法
4	Let's Be Friends! Unit1		知識・技能 ・基本的な文法事項などを正しく理解しているか ・異文化や概念を積極的に取り入れ、自分の考えを述べることができるか ・各単元の文法事項と使い方を理解できるか	・定期テスト(語彙・文法問題)
5		中間テスト		
6	Unit2 World Tour1 Unit3	期末テスト		
7	let's Read1 Active Grammar1 You can do it!1		思考・判断・表現 ・既習の文法を入れて自分の考えを表現できるか ・自分の将来の夢等を英語で伝えることができるか ・文化や生活について客観的に英語で紹介できるか ・まとまった英文(長文)を読んで内容を理解できるか ・英語の説明(リスニング)を理解できるか ・まとまった会話文をペアで発表できるか	・定期、実力テスト(リスニング、文章読解、英作文問題) ・パフォーマンステスト(ALTとの対話テスト、英作文や日記、音読など) ・授業でのパフォーマンス課題
8		復習テスト		
9	Unit4 Daily Life1 Active Grammar2 Unit5			
10	Daily Life2 Unit6 Daily Life3	中間テスト		
11	Active Grammar3 Daily Life4 Active Grammar4	期末テスト		
12	You can do it!2 Unit7		主体的に学習に取り組む態度 ・授業に参加出来ているか ・授業内で間違いを恐れずに積極的に発表しているか ・しっかり授業を聴いてノートをとっているか ・文型練習のとき、正しく発音しているか ・ふり返り内容	・授業プリントの完成度 ・ふり返り(授業、定期テスト)シート ・単語、文法テスト ・忘れ物、授業態度
1	Active Grammar5 Daily Life5	復習テスト		
2	Unit8 World Tour2 Active Grammar6	学年末テスト		
3	Let's Read2 You can do it!3 Let's Read More			

単語帳を使つての単語テスト、スピーキングテストやリスニング問題も随時実施します